|  |
| --- |
| 議事録 |
| 会議の名称 | 令和２年度　第１回戸田市情報化推進計画検討委員会 |
| 開催日時 | 令和２年８月７日(金)10:00～11:00 | 場所 | Web会議（Microsoft Teams）戸田市役所本庁舎大会議室A・B・C |
| 委員長氏名 | 吉浦　紀晃 |
| 出席者氏名 | 学識経験者埼玉大学　　　　　　　　　　　　吉浦　紀晃 |
| 市民代表Code for TODA　　　　　　　　　 伊藤　利昭戸田市ITボランティアの会　　　 清水　久雄国際交流協会　　　　　　　　　 宇津　宏 |
| 戸田市危機管理防災課主幹（代理出席）　本山　翔太政策秘書室主幹（代理出席）　　　生出　豊庶務課長　　　　　　　　　　　　増澤　直哉経営企画課長　　　　　　　　　　並木　皓人税務課主幹（代理出席）　　　　　佐藤　清彦市民課長　　　　　　　　　　　　早川　和男協働推進課主幹（代理出席）　　　市川　裕一経済政策課長　　　　　　　　　　野崎　実治障害福祉課長　　　　　　　　　　鎌田　陽子こども家庭課長　　　　　　　　　石橋　晴美都市計画課長　　　　　　　　　　熊木　智洋教育総務課長　　　　　　　　　　粟津　典浩生涯学習課主幹（代理出席）　　　吉田　雅也 |
| 事務局 | 総務部情報政策統計課　大山　水帆次長、山道　敏雄主幹、島田　敬生副主幹、平田　純主任ＩＴｂｏｏｋ株式会社　加藤　泰介、松本　博樹 |
| 配付資料 | 資料１：戸田市情報化推進検討委員会について資料２：戸田市第３次情報化推進計画策定概要資料３：戸田市第３次情報化推進計画策定スケジュール参考資料１：戸田市情報化推進計画検討委員会設置要綱参考資料２：戸田市情報化推進計画検討委員会委員名簿 |
| 議題 | 1. 戸田市情報化推進計画検討委員会について
2. 戸田市第３次情報化推進計画策定概要について
3. 戸田市第３次情報化推進計画策定スケジュールについて
4. その他
 |
| 議事録確定 | 令和２年９月７日　　　委員長氏名　吉浦　紀晃 |
| 発言者 | 議事内容 |
| **事務局****副市長****事務局****(戸田市)****事務局****(戸田市)****委員長****粟津課長****事務局****(戸田市)****市民委員****(清水氏)****事務局****(戸田市)****委員長****事務局****(戸田市)****委員長****市民代表****(宇津氏)****事務局****(戸田市)****市民代表****(伊藤氏)****事務局****(戸田市)****粟津課長****事務局****(戸田市)****粟津課長****事務局****(戸田市)****委員長****事務局****(戸田市)****委員長****事務局****(戸田市)****委員長****事務局****(ITbook)****委員長****事務局****(ITbook)****委員長****事務局****(ITbook)****市民委員****(清水氏)****事務局****(戸田市)****事務局****(戸田市)** | 【１　開会】【２　あいさつ】内田 貴之　副市長（代読：大山次長）本市では、「戸田市第２次情報化推進計画」前期、後期計画を基に、市民サービスの向上に繋がる先進的な情報化施策に取り組んできた。令和元年１２月には、「デジタル手続法」が施行され、行政手続きの原則オンライン化の推進など更なる行政のデジタル化が求められている。この行政のデジタル化に対する取り組みとして、本市では今年度、総務省主催の「地方公共団体におけるAI活用に関する調査研究」にて、「AIを活用したクラウド型スマート窓口の共同システム開発事業」を提案し、実証事業として実施する。本検討委員会にて策定する「戸田市第３次情報化推進計画」は、「戸田市第５次総合振興計画」における情報化施策に特化した計画であり、行政のデジタル化に向けた非常に重要な計画となる。委員の皆様には、計画策定に当たり、活発な意見交換をお願いすると共に、多くのご協力をいただきたい。（委員の紹介ならびに委員長の決定）**議題１　戸田市情報化推進計画検討委員会について**資料1について、事務局（戸田市）から説明。※質疑なし**議題２　戸田市第３次情報化推進計画策定概要について**資料２について、事務局（戸田市）から説明。議題２について、意見・質問等があれば発言していただきたい。資料以外でも、市に対しての意見・質問等でも構わない。これまでも電子申請をはじめとし、行政手続きのオンライン化は推進されてきた。その中で、現状の課題や課題解決の具体的な施策や方向性が示されていた方が良いのではないか。具体的な施策や方向性は本計画の中に記載する予定。様々な施策があったが、いまだに実用に至っていない点などを踏まえ、本計画を策定したい。例えば、マイナンバーカードは、普及が当初の目的であり、利便性の向上が課題であった。今後は、利便性向上に繋がるような「利用できるサービス」の充実を図ることが必要だと考えている。第２次情報化推進計画の達成結果がわからない。また、第３次情報化推進計画の重点施策等をまとめるのは今年度中か。または、来年度以降か。 現在、第２次情報化推進計画の振り返りを取りまとめ中である。また、第３次情報化推進計画の重点施策等の案は、１２月に取りまとめ、１月頃を目処にパブリック・コメント等を実施する予定である。本計画を策定するにあたり、これまで達成した結果や課題、および今後達成する目標や範囲を明らかにする必要がある。「洗い出し」を実施する際には、市役所だけでなく外部も含め、何か困っている事柄を見つけるのか。現状、課題があって対策を立てるのか。課題はないが何か新しいサービスを提供していくのか。本計画においての「洗い出し」とは、２つあり、１つは、庁内ヒアリングによる、第２次情報化推進計画の達成状況の「洗い出し」と、庁内ヒアリングにて上がった課題を、解決する施策の「洗い出し」である。また、市としては、新しいサービスの提供を重点的に考えており、市民アンケートや庁内ヒアリングの結果から、本計画の中で具体的に考えていきたい。庁外のことは、庁内ヒアリングのみでは把握しきれない。市民代表の方から、市に対しての要望など計画に関わらない内容でも良いので、発言をいただきたい。市民アンケートについて、情報化に対する市民ニーズはあると思うが、市民が新しいサービスを考えるのは難しく、市から具体的なサービスを提示していく方が良いと考える。頂いたご意見を踏まえて、市民アンケートの内容や新サービスの提案の仕方を工夫していきたい。これまでの施策が、あまり普及していない点が課題である。例えば、TV会議という仕組みは、既に確立されていたが、今回の非常事態で、全国で普及したように、サービスが普及するための仕組みやきっかけの案が計画に盛り込まれることが望ましい。デジタル化施策において、特にオンラインでの行政手続きの完結は急務と言われており、普及するための方法についても検討していきたい。基本方針３に係る個人認証の方式は、マイナンバーカードを中心とするのか、その他の独自の認証方式なのか。また、インフラ整備として市民全員に共通のICT環境を提供する方法なども考えているのか。個人認証の方式は、基本的にマイナンバーカードに付帯する公的個人認証サービスを利用する。マイナンバーカードを使用しない手続きや申請も少なからずあり、それらについては、簡便でユーザビリティの高い申請方法を導入していきたいと考えている。また、ICT基盤については、IT新改革戦略に向けた、総務省の実証実験に沿って、ワンストップとなるような、データで連係する電子申請の仕組みを実証していき、ペーパーレス化を実現する基盤の整備を推進していく予定である。スマホ機器やWi-Fi環境の有無など、個々人で差異があるが、行政サービスに接続するための、市民全員に共通のICT環境を提供するようなインフラ整備まで考えているのか。本計画では、現在のところ考えていない。個人認証において、マイナンバーは、どこでも使用できるのか。マイナンバーでなく、マイナンバーカードに付帯する公的個人認証サービス（電子証明書）によって、政府機関等の電子申請に広く利用可能である。マイナンバーカード自体に個人の証明書は付帯しているのか。マイナンバーカード申請時に「希望しない」とした場合を除き、電子証明書が付帯されている。本委員会の意見を市民アンケートに適宜反映し、より具体性のある計画を立てていただきたい。**議題３　戸田市第３次情報化推進計画策定スケジュールについて**資料３について、事務局（ＩＴｂｏｏｋ株式会社）から説明した。今後、実施するアンケート内容は決まっているのか。市民アンケートの内容は、ほぼ固まっている。庁内ヒアリングについては、素案を作成中である。これまで出た意見を市民アンケートに反映することはできるのか。戸田市と相談しながら、検討していきたい。市民アンケートは、９月下旬に発送、第２回委員会までに案を作成する予定であるため、いただいた意見の反映も可能だと思われる。戸田市が実施予定である「AIを活用したクラウド型スマート窓口の共同システム開発事業」と、「第３次情報化推進計画」との関係はどうなっているのか。本事業も本計画の中に反映していきたいと考えている。**議題４　その他**次回委員会はメール開催となる。詳細については後日連絡する。※質疑なし以上 |